

コミュニケーション活動

4月～日課にコミュニケーション活動が加わります！子ども達で会話する活動と、表現力向上を目指す作文活動を計画的に行っていきます。

会話活動では、好きなものを聞きあう、相手に説明をする、自分の考えを理由をつけて話す等の活動を行っていきます。この活動を通して、言語、非言語を含めたコミュニケーション能力の向上を目指します。自分から相手を誘う、目を見て話す、相槌やうなずきをしながら相手の話を最後まで聞く、笑顔で会話を楽しむ、他者視点に立ち自分の考えを伝える等の力を、この活動を通して身につけていってほしいです。

作文活動では、語彙を増やす練習、文の根幹となる主語＋述語を使って文を作る練習、修飾語を使って文を長くする練習などをします。セリフを考えたり、クイズを考えたりする活動もあります。この活動を通して、まずは表現することの楽しさを感じてほしいです。そして楽しみながら文や文章を作ること、作文する力の向上を目指します。

新しく始まるコミュニケーション活動を通して、子供たちのさらなる成長する姿を見ることがとても楽しみです！

＊4月よりプログラムの一部の名前が変更になります。（直写⇒なぞり絵、視知覚⇒あいトレ）また、視写では板書をする活動を取り入れるなど、日課の内容もさらにブラッシュアップしていきます！

- ・広島古市教室 082-877-9001
- ・広島五日市教室 082-943-9001
- ・広島田方教室 082-507-0390
- ・広島彩が丘教室 082-926-3906
- ・広島五日市児童発達支援専門教室 082-943-9001



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

新年度からの日々。お子様は新しい環境に慣れてきたでしょうか。

今回は、「15歳までに始めたい 発達障害の子のライフスキル・トレーニング 梅永雄二 講談社」という本を紹介します。

作者は、発達障害の人の就労支援の活動をする方で、人生で必要なスキルを得るには15歳までの期間が大切であると述べています。

子どもは中学を卒業すると自立的活動の時間が増えてきます。就労支援で悩みを聞くと「仕事以外の部分で困っている」という話をよくききます。スキルを得ることは、落ちついて就業できるということです。

トレーニング方法は、①清潔感を身につける「身だしなみ」、②肥満や体調不良等に対処する「健康管理」、③部屋を片付ける等の「住い」、④無駄遣いを防ぐ「金銭管理」、⑤自分の決断をサポートする「進路選択」、⑥予定通りの移動をめざす「外出」、⑦援助の求め方を身につける「対人関係」、⑧自由時間を楽しむ「余暇」、⑨支援者との繋がりをもつ「地域参加」、⑩ルールを教え、万に備える「法的な問題」のスキルです。このトレーニングは、子どもの得意をのばし、苦手をサポートするのがポイントです。

是非、参考にしてください。

お知らせ

クォーレプレミオが設立され新体制となりました。
教室はHPをご覧ください。

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

